



ハートフル通信 第4号

ハートフル訪問看護ステーション

2022年5月

左：フェイスブック、
右：インスタグラム
のお知らせ →



利用者様の本音が聞けました ありがとうございます

3月、利用者様に事業所にお越しいた^たき、広報誌の封筒入れ作業をお手伝いいただきました。その時の感想などお伝えします。

私、渡部は毎月夜な夜な広報誌の発送準備をしていたので、今回はちょっと甘えて、利用者さんにご協力をお願いしました。

利用者さんと一緒に、封筒詰めの手を動かしながら、口も動かしペチャクチャと会話がはずみます。

私を事務職員と見ていらっしゃるので、本音が次から次へと出てきます！

スタッフの評判や、おススメのデイケアとその内情、「働きたいけど働けない」はがゆさや、病気をわかってもらえない辛さから、じゃあどうする？ というディスカッションにまで発展し、SST※の実践の場になっていました。

その中で「訪問看護が自分にとって必要なものになっている。」とおっしゃった方がいました。自分を良く分かってくれる存在、何でも話せる人、いつも「それで良いよ」と言って励ましてくれる人、一緒にやりたい事を楽しんでくれる人・・・

私たちは、そのような対話や関わりを意図的に行う事で、本来のその人自身を取り戻すお手伝いをします。そして、その方の持つ無限の可能性を信じ、共に進化していける関係でい続けたいと思います。

利用者の皆様、またペチャクチャしにいらしてください。

お待ちしております。 ありがとうございます♪

SST(ソーシャルスキルトレーニング)教室を企画しようかな。

事業管理者 渡部 貴子

※SSTとは 「生活技能訓練」のこと。
認知行動療法に基づいたリハビリテーション技法です。

訪問看護師募集中！！

訪問看護未経験の方も
歓迎します



出産・育休より復職しました！ おかえりなさい

2020年12月より出産・育児のため産休をいただいておりますが、4月より復職いたしました。

皆さまのおかげで、育休の間は子どもとの大切な時間を過ごすことができました。

出産・育児を通して今まで気に留めていなかった道端の草木や花などに幸せを感じたり、子どもの目線に合わせて物事を見るようになりました。

利用者さんと関わる際にも今まで以上に他者の視点にたって物事をみるように心がけたいと思います。

短時間勤務や子供の体調不良などでご迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯頑張りますのでよろしくをお願いします。

なぜ、精神科訪問看護で働くのか

こんにちは。

今回、エッセイのバトンを受け取りましたので、僭越ながら書かせていただきたいと思います。

わたしが精神科訪問看護を選んだそもそものきっかけは、以前に勤めていた精神科病院で、なぜこの人は入院を選ばなければならなかったのだろう？入院をしないで生活できる方法はなかったのだろうか？と受け持ちの患者さんについて疑問を感じたことがきっかけでした。

そして、訪問看護ならば、この疑問を解決できるのではと感じ、精神科訪問看護の扉を叩いたというわけです。

実際に訪問看護で皆様のサポートをさせていただくことで、わたし自身は過去の自分の疑問にある程度の答えを見出しつつあり、訪問看護を選んで正解だったと感じています。

時と場合によっては、精神科病院の環境は患者さんにとって心と身体の休憩を取る場所として必要な場所だったんだと、過去に行ってきた看護を肯定することができました。それと同時に精神科訪問看護師としては、より利用者さんの状態観察や変化を汲み取り、過ごしやすい環境を保ち続けることが重要だと学びました。

学びましたと過去形で書きましたが、もちろんまだまだ学びは途中だと感じています。利用者さんにとって必要な連携を即座に判断していくことはまだ先輩方に頼りがちですし、実は電話対応もドキドキしながらやっています。

そんな私ですが、利用者さんの困ったを解決し、利用者さんと一緒に喜び合える時がこの仕事の醍醐味だと感じています。これからも私なりに知恵を絞って皆様の困ったを解決していければと思っているので、よろしくお願いします。

都立大 看護師 江島 麻衣子



ハートフルでの作業療法

作業療法士になってからは14年、ハートフルで働き始めて6年目になりました。以前は子ども達の療育と親御さんのサポートをする仕事をして、ハートフルは友人からの紹介をきっかけに働き始めています。

人の心に興味を持ち、人と関わる仕事をしたい、何かしら人の役に立てる仕事がしたいと思って作業療法士を選びました。

ハートフルに来て、先輩方や利用者さんから多くのことを学ばせて頂きましたし、今でも毎日学びの日々です。

僕がいつも大切にしていることは「医療従事者にならないこと」です。

決して仕事を放棄しているわけではありません 笑

目の前の方と共に生き、学び、笑い、チャレンジすること、それを意識しながら日々働いています。

おかげさまで就労に結びついた利用者さんが増えて来ており嬉しい限りです。より多くの方が仕事やコミュニティに属し、社会と調和して、豊かに過ごせればと思います。人生一度きり。後悔なく楽しく生きている人が増えるよう、僕自身が毎日を楽しみながらチャレンジしていきます。

中目黒 作業療法士 小林且弥



認知症・精神科専門

ハートフル訪問看護ステーション

中目黒 目黒区上目黒2丁目15-6 川鍋ビル4階

都立大 目黒区自由が丘1-19-21

TEL 03-6412-8830

サービス提供エリア： 区内全域：目黒区

一部地域：世田谷区、品川区、港区、大田区

次回ハートフル通信は、2022年5月発行予定です

発行人：ハートフル訪問看護ステーション広報委員会